

今後の検討の方向性

X帯サブ・ワーキング・グループにおける今後の検討に際して、主な検討項目としては以下のものを想定（議論の過程において、必要に応じて一部修正や変更）。

- X帯気象レーダーの技術的条件の検討に当たり、9.4GHz 帯と 9.7GHz 帯の利用現況等を踏まえた両者の位置付けや使い分けを整理する。
- 当面、9.4GHz 帯の技術的条件を検討していくが、周波数帯を共用する他システムとの干渉の度合いを十分に考慮する。
ただし、共用検討モデルは、可能性が極端に低いケース等は想定しないことが望ましい。
- 他システムとの共用検討を効率的に進めるためには、まず、相互の干渉許容レベルの明確化から検討を始める。
- 気象レーダーが利用可能な周波数の帯域には制約があることに十分留意した上で、現実的に必要となる諸元等を速やかに整理する。
- また、国際的にX帯気象レーダーの位置付けが必ずしも明確ではないことを踏まえ、今後の海外展開にも有利な技術的条件を検討する。